

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第121期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	西部瓦斯株式会社
【英訳名】	SAIBU GAS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 酒見俊夫
【本店の所在の場所】	福岡市博多区千代一丁目17番1号
【電話番号】	092-633-2245
【事務連絡者氏名】	経理部 主計グループ マネジャー 山崎正良
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目15番12号 日本ガス協会ビル2階 西部瓦斯株式会社 東京事務所
【電話番号】	03-3508-1796
【事務連絡者氏名】	理事 東京事務所長 岡安賢二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第3四半期 連結累計期間	第121期 第3四半期 連結累計期間	第120期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	125,620	138,147	179,438
経常利益 (百万円)	2,931	626	6,583
四半期(当期)純利益 (百万円)	377	97	3,752
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	600	1,287	6,094
純資産額 (百万円)	59,841	64,383	65,333
総資産額 (百万円)	292,358	328,055	303,369
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1.02	0.26	10.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	19.9	19.1	20.9

回次	第120期 第3四半期 連結会計期間	第121期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額( ) (円)	4.24	1.37

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 売上高には、消費税等は含まれていない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社における異動もない。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクは、次のとおりである。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

（政策・法令・制度等の変更）

エネルギー政策やガス事業法等の各種法令、ガス事業制度等の変更によって、当社グループの業績が影響を受ける可能性がある。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、原料費調整制度に基づくガス料金単価の上方調整の影響等によりガス売上が増加したことに加え、連結子会社数が増加したこと等によって、138,147百万円（前年同期比12,527百万円 10.0%増）となった。

一方、営業費用は、為替が円安で推移したこと等による都市ガス原材料費の増加等によって、売上原価が増加したことから、137,538百万円（前年同期比14,738百万円 12.0%増）となった。

この結果、営業利益は609百万円（前年同期比2,210百万円 78.4%減）、経常利益は626百万円（前年同期比2,305百万円 78.6%減）、四半期純利益は97百万円（前年同期比280百万円 74.3%減）となった。

セグメントの業績は、次のとおりである。

なお、下記のセグメント別売上高及びセグメント損益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでいる。

#### ガス

当第3四半期連結累計期間の都市ガス販売については、家庭用ガス販売量が、前年より気温が高めに推移したこと等から、前年同期に比べ5.0%減少したものの、業務用ガス販売量が、大口需要の新規獲得等の影響によって、前年同期に比べ4.2%増加し、卸供給ガス販売量においても、卸供給先の需要増によって、前年同期に比べ3.4%増加した。その結果、都市ガス販売量は、前年同期に比べ1.5%増加の621,638千 $\text{m}^3$ となった。

以上のような都市ガス販売の結果と原料費調整制度に基づくガス料金単価の上方調整の影響等によって売上高は99,078百万円（前年同期比5,581百万円 6.0%増）となったが、為替が円安で推移したこと等による都市ガス原材料費の増加等によって、セグメント損益は1,008百万円の損失（前年同期はセグメント利益1,026百万円）となった。

#### LPG

販売単価上昇の影響等により売上高は15,797百万円（前年同期比884百万円 5.9%増）、セグメント損益は247百万円の損失（前年同期はセグメント損失54百万円）となった。

#### 不動産

住宅販売戸数が増加したこと等から売上高は6,603百万円（前年同期比135百万円 2.1%増）、セグメント利益は1,707百万円（前年同期比26百万円 1.5%増）となった。

#### その他

連結子会社数が増加したこと等により売上高は28,094百万円（前年同期比6,768百万円 31.7%増）、セグメント利益は755百万円（前年同期比14百万円 1.9%増）となった。

（注）本報告書では、ガス量はすべて45MJ(メガジュール)/ $\text{m}^3$ で表記している。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はない。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は276百万円である。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	800,000,000
計	800,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	371,875,676	371,875,676	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	371,875,676	371,875,676		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はない。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		371,875,676		20,629		5,695

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 658,000 (相互保有株式) 普通株式 16,000		
完全議決権株式（その他）	普通株式 370,221,000	370,221	
単元未満株式	普通株式 980,676		
発行済株式総数	371,875,676		
総株主の議決権		370,221	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式365株及び当社所有の自己株式631株が含まれている。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) 西部瓦斯株式会社	福岡市博多区 千代一丁目17-1	657,000		657,000	0.17
(相互保有株式) 株式会社インターライフ	熊本市中央区 萩原町12-16	1,000		1,000	0.00
(相互保有株式) 株式会社ハウゼック	福岡市南区 大楠三丁目12-27	15,000		15,000	0.00
計		673,000		673,000	0.18

(注)上記のほか、株主名簿上は当社名義となっているが、実質的に所有していない株式が1,000株ある。

なお、当該株式は上記「発行済株式」の「完全議決権株式（自己保有株式）」の中に含まれている。

当第3四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は、683,929株である。

2【役員の状況】

該当事項はない。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
製造設備	25,179	23,359
供給設備	59,189	57,082
業務設備	11,672	11,960
その他の設備	70,472	69,167
建設仮勘定	45,784	63,989
<b>有形固定資産合計</b>	<b>212,298</b>	<b>225,561</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	308	1,111
その他無形固定資産	5,837	4,941
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,145</b>	<b>6,052</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	29,454	31,407
長期貸付金	4,339	4,386
繰延税金資産	3,367	2,857
その他投資	3,606	4,201
貸倒引当金	339	472
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>40,428</b>	<b>42,380</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>258,872</b>	<b>273,994</b>
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,284	8,521
受取手形及び売掛金	18,553	20,693
有価証券	200	321
商品及び製品	2,064	3,072
仕掛品	3,057	4,695
原材料及び貯蔵品	3,960	4,925
繰延税金資産	1,655	1,713
その他流動資産	6,908	10,385
貸倒引当金	187	268
<b>流動資産合計</b>	<b>44,496</b>	<b>54,060</b>
<b>資産合計</b>	<b>303,369</b>	<b>328,055</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
社債	30,000	40,000
長期借入金	118,877	136,902
繰延税金負債	51	55
退職給付引当金	4,573	4,612
ガスホルダー修繕引当金	630	661
資産除去債務	32	32
負ののれん	46	-
その他固定負債	8,148	7,576
固定負債合計	162,359	189,839
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	14,574	17,779
支払手形及び買掛金	12,977	14,466
短期借入金	25,044	25,741
未払法人税等	3,430	906
役員賞与引当金	64	15
その他流動負債	19,585	14,923
流動負債合計	75,676	73,832
負債合計	238,035	263,671
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,629	20,629
資本剰余金	5,804	5,804
利益剰余金	33,534	31,404
自己株式	150	158
株主資本合計	59,818	57,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	4,911
その他の包括利益累計額合計	3,649	4,911
少数株主持分	1,865	1,791
純資産合計	65,333	64,383
負債純資産合計	303,369	328,055



( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	125,620	138,147
売上原価	72,989	88,251
売上総利益	52,630	49,896
供給販売費及び一般管理費	49,810	49,286
営業利益	2,819	609
営業外収益		
受取利息	59	59
受取配当金	404	476
負ののれん償却額	46	46
持分法による投資利益	132	-
雑賃貸料	405	413
雑収入	760	828
営業外収益合計	1,808	1,823
営業外費用		
支払利息	1,356	1,283
持分法による投資損失	-	13
社債発行費償却	-	49
雑支出	339	459
営業外費用合計	1,696	1,806
経常利益	2,931	626
特別利益		
固定資産売却益	-	911
投資有価証券売却益	132	-
特別利益合計	132	911
特別損失		
固定資産売却損	-	584
投資有価証券評価損	1,225	-
特別損失合計	1,225	584
税金等調整前四半期純利益	1,839	953
法人税等	1,535	922
少数株主損益調整前四半期純利益	303	31
少数株主損失( )	73	66
四半期純利益	377	97

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	303	31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	1,245
繰延ヘッジ損益	1	-
持分法適用会社に対する持分相当額	6	11
その他の包括利益合計	296	1,256
四半期包括利益	600	1,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	1,359
少数株主に係る四半期包括利益	73	72

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

社債の債務履行引受契約に係る偶発債務は、次のとおりである。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
第7回無担保社債	10,000百万円	-百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループの売上高は、ガス事業のウエイトが高いため、冬期を中心とした期間に多く計上されるという季節の変動がある。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	12,250百万円	11,765百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,113	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金
平成24年10月29日 取締役会	普通株式	1,113	3.00	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,113	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金
平成25年10月29日 取締役会	普通株式	1,113	3.00	平成25年9月30日	平成25年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	L P G	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	92,502	12,849	3,718	109,070	16,549	125,620	-	125,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	994	2,064	2,750	5,809	4,776	10,585	10,585	-
計	93,497	14,913	6,468	114,879	21,326	136,206	10,585	125,620
セグメント利益又は セグメント損失 ( )	1,026	54	1,681	2,652	741	3,394	574	2,819

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、飲食店事業、熱供給事業等を含んでいる。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 574百万円には、セグメント間取引消去又は振替高167百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 741百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はない。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はない。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はない。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	L P G	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	97,673	13,300	3,857	114,831	23,316	138,147	-	138,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,404	2,497	2,746	6,648	4,778	11,426	11,426	-
計	99,078	15,797	6,603	121,479	28,094	149,574	11,426	138,147
セグメント利益又は セグメント損失 ( )	1,008	247	1,707	450	755	1,205	596	609

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、飲食店事業、熱供給事業等を含んでいる。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 596百万円には、セグメント間取引消去又は振替高149百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 745百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はない。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はない。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はない。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1円2銭	26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	377	97
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	377	97
普通株式の期中平均株式数(千株)	371,259	371,217

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項はない。

## 2【その他】

平成25年10月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議した。

1. 配当金の総額 1,113百万円
2. 1株当たりの金額 3円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年11月29日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行う。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

西部瓦斯株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 淵 輝 生

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松 嶋 敦

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上 田 知 範

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている西部瓦斯株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、西部瓦斯株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていない。